

令和6年度取組状況

ものづくり工学科 一般科

准教授 福永堅吾

取組状況	
教育	<p>書き込み式の教材プリントと演習プリントを作成 英語Ⅰ:教科書本文と新出の文法事項をまとめたプリントを作成し、本文の和訳と重要表現をまとめやすくするよう心がけた。また、その日に学習する文法のポイントを穴埋めにし、例文を多く掲載したプリントを作成し、理解の助けとなるよう工夫を施し、さらに毎時間の学習内容に関連する演習プリントを作成し、定着をはかった。 英語Ⅳ:良質なTOEIC L&Rの問題を抜粋して演習プリントを作成し、TOEIC IPテストのスコアアップを図るよう心がけた。</p>
研究	<p>今年度は校務の比率が多かったため、ハンナ・アーレントのテキストの講読と関連する先行研究の調査にとどまった。また、今年度末3月に東宝ミュージカル『屋根の上のヴァイオリン弾き』が公演され、この作品に描かれるユダヤ文化とアーレントが問題とするユダヤ性に関連づけさせつつ、論考をまとめられるよう、次年度にかけて準備を進める予定である。</p>
社会貢献	<p>2024年度第1回研究推進セミナー講師「1～2文からなる英文ライティングに起こるエラーとその指導ー2022年度特別研究期間制度報告に代えてー」2024年7月5日(金) 日英言語文化学会 副事務局長, 理事 (一財)語学教育研究所 評議員, 『語研ジャーナル』第23号編集室長</p>